



## 子どもと火への興味

Fact Sheet 15 – Community Risk Management. Revised 1/11/2005

### 事実

親は子どもの防火教育において極めて重要な役割を担っています。  
防火教育の目的は、火遊びをせず、自分や他人を怪我させないように子どもたちを教育することです。

### 子どもが火に対する興味を持たないようにするためにはどうすればよいのか？

- 家庭の大人全員が、火災に関する最新の安全情報、煙警報機、防火毛布、消火器の使用・管理方法、緊急時にトリプルゼロ（000）をダイヤルする手順をしっかりと知っておいてください。
- 常に子どもたちを十分に監督してください。
- 子どもたちに火や火災を怖がらせるという方法は逆効果を生じさせることがあります。子どもたちに説明したり問題に取り組むときは、平静を保って常に正直かつ理性的でいましょう。
- 少しくらい火傷したからといって子どもたちの火に対する興味は変わらないかもしれないということを理解しておきましょう。
- 子どもたちは他人の行動を真似するというを理解し、自宅で暖房機器や裸火やその他の熱源を扱う際は、自らが良い見本となるように心がけましょう。
- 火は道具でありおもちゃではないということ、責任を持って安全に使用すれば火は便利な道具なのだということを子どもたちに教えましょう。
- マッチやライターを見つけたら大人に知らせるように子どもたちを教育しましょう。
- 子どもたちのエネルギーを、スポーツなどのより建設的な活動に向けさせましょう。
- 喫煙者の子どもは火遊びする可能性が高いので、火遊びを予防するためにも禁煙を考えてみてください。
- すべてのライターやマッチは、施錠して安全に保管するべきです。
- 布団や衣服の焦げ、子どものポケットに入ったライターやマッチなど、火遊びの形跡に目を光らせましょう。
- 自宅に十分な数の煙警報機を設置してください。さらに、全寝室への警報機設置を検討するなどして、寝室は特に嚴重にしてください。
- 自宅で火災が生じた場合どのように行動すべきかを家族全員が知っておくべきです。避難計画について学ぶ時間を設け、子どもたちを議論、計画、訓練に参加させることも忘れないでください。
- 火災は深刻な結果を招きかねない問題ですから、きちんと訓練に参加し、危険に巻き込まれないようにしましょう。
- 「体勢を低くしてどんどん進め！」というような、火災におけるサバイバル技術を子どもたちに教えましょう。

小さな炎が危険な火災になりうるということを多くの子どもたちは知りません。

火に対する子どもの興味に関してご心配なら、  
NSWにお住まいの方は **1800 600 700** を、ACTにお住まいの方は **6207 9032** をダイヤルしてください

協力： **NSW 州消防庁、NSW 州地方消防隊、  
ACT 消防庁、ACT 地方消防隊**

詳しくは、地元の消防署か消防センターにお問い合わせいただくか、  
ウェブサイトをご覧ください：[www.fire.nsw.gov.au](http://www.fire.nsw.gov.au) [www.rfs.nsw.gov.au](http://www.rfs.nsw.gov.au) [www.esa.act.gov.au](http://www.esa.act.gov.au)

### 火に対する興味に関する安全情報

- 年長の子どもたちにマッチと火の安全な使い方を教え、大人の前でしか火をつけてはならないということを理解させましょう。
- 小さな子どもたちは寝室で火遊びをするかもしれないということを心に留めておきましょう。
- 眠っているときは煙を嗅げないし、実際煙はあなたをより深い眠りにつかせるということを覚えておきましょう。

**緊急時には000をダイヤルしてください**